
紅い夜

水香

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

紅い夜

【Nコード】

N1898A

【作者名】

水香

【あらすじ】

ある夜に起こった悲しい愛。おさえきれない愛。人の死について書いてみました。

(前書き)

初めまして。初投稿でかなり駄作だと思います(汗)読んでもらえたら嬉しいです。

真つ赤なソファにカットガラスのテーブル。

その上にわ白いバラの花。

大きな窓には、真つ赤な満月がいつぱいに映し出され、その周りを星たちが飾る。

ソファに腰掛ける真つ黒なドレスに身を包んだ女性は、真つ赤なワインを月夜に透かす。

月光が、ワインを通して赤い光を照らし出す。

「乾杯。」

そつと、星に囁く。

美しき女性は、その紅をそつと口元に含む。そつと微笑み、

「おいしい。」

とつぶやく姿は、まるで闇の女王だった。

美しい。それでもって妖しくもある。そんな彼女の様子を、さきほどの窓辺の使者たちが愛しそうに、そして切なそうに眺めていた。

まるで、これから起こる悲劇を予期しているかのように……

彼女は一口、また一口とワインを口に運ぶ。

次第に、虚ろになっていく目は、また一層彼女の妖艶な美しさを引き立てる。

やがて喉元をこぼれ伝う紅に、真紅の滴が混ざり、その美しき悪魔は眠りについた。

深い、深い……夢の中、彼女はいったい何を想っているのだろうか。

たくさん星に囲まれて幸せなのだろうか。

それとも早すぎる死を悔やんでいるのだろうか。

いや、きっと彼女の本望だっただろう。

美しき女性は、いつまでも美しくありたいものだ。

そして、これは俺の本望でもある。

綺麗な綾香。

美しい綾香。

艶イロっぽい綾香。

俺の大好きな綾香。俺だけの綾香。これで俺たちはずっと結ばれた
ままだ。

男はフツと口元を緩めて、月夜の闇に消えていく。そして、長い長
い夜が明けてゆく・・・

(後書き)

ありがとうございましたっ。また感想なをかいただけたら嬉しいです。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能たんのうしてください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n1898a/>

紅い夜

2010年12月14日04時04分発行